

第 2 回 福崎町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 22 年 12 月 7 日 (火) 14:00 ~ 15:00

2. 場 所 福崎町役場 2 階 大会議室

3. 出席者

	所 属 団 体	役 職 名	氏 名	代理等
会 長	兵庫県立大学環境人間学部	教 授	松本 滋	
委 員	福崎町区長会	副 会 長	中田 光夫	
	福崎町老人クラブ連合会	会 長	庄 幹正	
	福崎町商工会	会 長	後藤 雅一	
	J R 西日本福崎駅	副 駅 長	武智 芳直	
	神姫バス株式会社姫路営業所	所 長	月野木 謙一	
	社団法人兵庫県バス協会	専務理事	小西 一夫	
	社団法人兵庫県タクシー協会西播地区 (神崎交通有限会社)	副 会 長	依藤 義光	
	神姫バス労働組合	書 記 長	中川 貴水	
	神戸運輸監理部兵庫陸運部	首席運輸企画 専 門 官	木村 淳三	本田 泰彦 (運輸企画専門官)
	中播磨県民局姫路土木事務所	企画調整担当 主 幹	寺西 章浩	
	福崎警察署交通課	課 長	宮辻 義信	
	福崎町議会 (民生常任委員会)	副 委 員 長	志水 正幸	
	福崎町議会 (産業建設常任委員会)	委 員	吉識 定和	
	福崎町	副 町 長	橋本 省三	
	福崎町まちづくり課	課 長	志水 利雄	
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所	道路管理 第二課長	高村 裕一	欠 席
	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副 課 長	竹林 誠	萩 裕之

(順不同 敬称略)

	所 属 団 体	氏 名
事務局	福崎町健康福祉課	高松 伸一
		三木 雅人
		村上 祥教
	(株) 丸尾計画事務所	丸尾 哲也
		西村 和記
		小林 巧

4. 配布資料

- 次第
- 座席表及び名簿
- 資料1 バス事業者からの路線退出の意向の申出に係る意見書について
- 資料2 第1回交通会議資料から見る福崎町の交通をとりまく現状と課題について
- 資料3 日常の移動に関するアンケート（町民アンケート）結果等から見る福崎町の交通現状と課題について
- 資料4 町民の移動状況から見る公共交通網の再編方針（案）について
- 参考1 日常の移動に関するアンケート（町民アンケート）調査結果（概要）について
- 参考2 福崎駅の利用実態調査結果（概要）について
- 参考3 各種アンケート調査票

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人1名。

6. 開 会

（事務局）

定刻が参りましたので、ただ今から第2回福崎町地域公共交通会議を開催いたします。

本会議は設置要綱に則りまして公開とさせていただきます。

司会進行をさせていただきます、事務局健康福祉課の高松伸一です。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、要綱第4条の規定により委員の交替がございますのでご紹介させていただきます。平成22年9月15日付で、福崎警察署交通課長が戸田課長から宮辻課長に替われ、本日出席していただいております。

それでは開会にあたりまして、松本会長よりご挨拶をいただきます。

7. あいさつ

（松本会長）

本日は寒い中、第2回福崎町地域公共交通会議に参加していただきありがとうございます。今回の会議は、福崎町の交通にとって重要な会議になりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

8. 報告事項

事務局より、バス事業者からの路線退出の意向の申出に係る協議について説明。（資料1）

9. 協議事項

(1) 福崎町の交通をとりまく現状と課題について

事務局より、第1回交通会議資料から見る福崎町の交通をとりまく現状と課題について（資料2）と、日常の移動に関するアンケート（町民アンケート）結果等から見る福崎町の交通現状と課題について（資料3）を説明。

(会 長)

回答項目が多いアンケートでしたが、15歳以上の福崎町民の63%の方に回答いただくことができているので、住民の関心が高いアンケートだったと思います。

福崎町民の委員の方にお聞きしたいのですが、イメージとは違う結果にはなっていないでしょうか。イメージとは違う結果がありましたら、ご意見お願いいたします。

(全委員意見なし。)

(2) 町民の移動状況から見る公共交通網の再編方針(案)について

事務局より、町民の移動状況から見る公共交通網の再編方針案について(資料4)説明。

(委 員)

公共交通的需要による人の動きで示している数字(資料4:P.2)は、「既に公共交通を利用している人」の移動量と、「クルマを利用する事が出来なくなったので公共交通が走れば利用する可能性がある人」の移動量を足しているということでしょうか。

(会 長)

この数字は、町民アンケート結果から集計したものであり、クルマを気軽に利用できなく移動に困っている人(「免許なし」または「家にクルマなし」または「70歳以上」の人で、なおかつ「移動する際に公共交通に関する問題を感じている人」と、既に公共交通を利用している人の移動量を公共交通的需要量として扱い、その数を示しております。

(委 員)

公共交通が走れば利用しても良いと考えている人という解釈でよろしいでしょうか。

(会 長)

いえ、それはわかりません。クルマを気軽に利用できないから公共交通が走れば利用しても良いと考えている人も含まれておりますが、元気に自転車で移動出来る人もクルマを気軽に利用できない人であれば含めているため、このような人は公共交通が走っても利用しない可能性もあります。要するに、公共交通の利用者になる可能性がある人数と考えられます。

(委 員)

町民アンケート結果から見ると福崎町民は、福崎町外へも多く移動されています。今後の検討内容(資料4:P.4)として、公共交通再編計画や実験運行の検討などを示されておりますが、今後この福崎町地域公共交通会議で行うデマンド型などの公共交通の導入検討は、町外も含めて導入検討を行うのか、町内のみの導入検討を行うのかどちらでしょうか。

(事務局)

町民アンケート結果では、旧姫路市、加西市、香寺町などへの町外の流動も多く、他市町と連携し公共交通の導入を検討する必要もあると考えられますが、現時点では、町内のみを運行するデマンド型交通等の導入を考えております。

(会 長)

本日、事務局が提案している公共交通網の再編方針案を基にして、次回の会議では、もう少し公共交通再編に向けた具体案を検討し、来年度にはその具体案による実験運行を行う予定にしております。今後、この方針で進めていってもよろしいでしょうか。

(委員)

デマンド型公共交通の導入という再編方針を提案されていますが、具体的には、どのような形態の運行を想定されていますか。

(事務局)

具体的には、自宅または町内の各地区に数箇所程度バス停（公民館などの主要拠点）を置き、仮の運行経路とおおよその時刻表をあらかじめ設定しておき、予約のあるところだけを順番に回る運行方法を考えています。

(委員)

本日の会議は、運行地域やルート設定などの詳細な検討まで行うのですか。それとも、方針だけを検討するのですか。

(事務局)

本日は方針について議論していただき、運行地域やルート設定、運行時間などの詳細な検討は、次回以降の会議で検討したいと考えております。

(委員)

公共交通的需要による人の動き（資料4：P.2）を見ますと、駅前から三木穴栗線を通って大門までの流動が多くなっています。大門地区周辺から駅前の商業施設や医療施設等に行っているということでしょうか。また、具体的にどのような施設がありますか。

(事務局)

人が集まる施設としては、駅周辺には文化センター・エルデホール等の公共施設や、医療施設などがあります。また、西田原地区に商業施設や医療施設などがあり、各地域からそれら施設を目的地として移動しているため、駅周辺から西田原地区に需要軸が形成されていると思われま。

(会長)

福崎町域の中央に川が通っており、町内の東西流動はほとんどこの路線を通るしかないので、この路線に軸が形成されているとも考えられます。また、移動が集中するため、この軸上に商業施設などが集積していると考えられます。

(委員)

提案されている再編案は、当面はデマンド型公共交通のみの導入に向けた検討を行うことになっています。しかし、中心市街地などの公共交通的需要の多い路線には定時定路線型公共交通を運行し、その他の比較的需要在少ない地域はデマンド型公共交通を運行するといった組み合わせが良いのではないかと思います。

(事務局)

ご指摘の通り、将来的にめざすべき公共交通網としては、需要の多い軸は定時定路線型を運行し、その他の地区はデマンド型を運行するといった組み合わせが良いと考えられます。しかし、財政的な問題もあるため当面は福祉交通的需要をターゲットとして、デマンド型公共交通の導入検討を行いたいと考えております。

(委員)

本日、会議に出席して初めて、福崎町がデマンド型公共交通の導入を検討しているという事を知りました。今後の予定では、次回にデマンド型公共交通導入に向けた具体的な検討を行うことになっております。デマンド型公共交通の導入により、町からも補助をいただい

運行している路線バスに、どのような影響が出るかなどについても検討する必要がありますので、次回の会議からは、事前に協議内容をお知らせいただきたいと思います。

(事務局)

次回からは、会議前に協議内容を報告いたします。今回は、当日の資料配付となり申し訳ございませんでした。

(委員)

ある程度、交通需要の多い区間（資料4：P.1）を走っている福崎駅から栗賀行系統などのバスですら路線の休止になっています。このことから、やはり公共交通を黒字で運行するのは難しいと思われるため、行政の財政負担も必要だと思います。行政が財政負担を行い、今後コミュニティ交通を再編して新たな公共交通を導入するに当たっては、ただ導入するだけではなく、町民が愛着を持てるようなサービスを提供し、町民に公共交通を守るという意識改革を行ってもらえるようにしていくことが必要だと考えられます。

(会長)

町民アンケートの調査結果から見ても、福崎町は超クルマ依存社会になっています。現状では、公共交通が不便でもほとんどの人が困っておらず、移動に困っているのは一部の高齢者だけになっております。しかし、これから高齢化が進展することを考慮すると、公共交通が不便な状態では移動に困る人が多くなってしまいます。今後、公共交通の再編を検討していくに当たっては、どのようにして移動に困る人の移動手段の確保を行うかという視点で検討することが重要です。

10. その他

事務局より、町民アンケート調査結果概要（参考1）と、福崎駅の利用実態調査結果概要（参考2）を説明。

また、次回の第3回福崎町地域公共交通会議は2月頃の開催を予定していることを報告。

(委員)

アンケートの自由意見の取りまとめはできていますか。もし出来ているのであれば、参考になりますので教えていただきたいと思います。

(事務局)

各種アンケートの自由意見は現在取りまとめ中です。次回会議には、資料として提出しますのでよろしく願いいたします。

(委員)

福崎駅利用者アンケート調査結果は資料で出ているのですが、近畿医療福祉大学と福崎高校のアンケート調査結果は資料になっているのですか。

(事務局)

福崎駅利用者アンケート調査結果は3つの調査結果を統合しております。近畿医療福祉大学と福崎高校のアンケート結果の内、福崎駅利用者のみを抽出したデータと、福崎駅利用者ヒアリング調査結果のデータを統合し、福崎駅利用者アンケート調査データとしております。したがって、参考資料2でお示ししている福崎駅の利用実態調査結果には、近畿医療福祉大学と福崎高校のアンケート調査結果も含まれています。

11. 閉 会

(会 長)

本日は、本会議に参加していただき誠にありがとうございました。

(事務局)

これをもちまして、第2回福崎町地域公共交通会議を閉会させていただきます。

以 上